



フォーラムは形とか形体とか形状又は組織の意であるフォーミュラは多く形式と云ふ様な場合に用ゑられ兩國間に何等かのフォーミュラによつて理解を求めて置きたいなど云ふ

石城郡の壯丁検査

壯丁二千八百八十名

本年は五月十七日から平町で
前年より二百十八名増加

石城郡に於ける本年の壯丁検査は五月十七日から三十一日まで平町第一小学校講堂で行はれるが検査定数は適合令一六四三年前年度決着六八八寄留四七四計二千八百八十名で昨年度の適合一六二二三年前年度決着三八八寄留三〇二計千九百六十二人より二百十八名を増加してゐる各町村の検査日及び人員を上ぐれば左記の如くである

- 五月十七日大野四一 大浦
- 五三 草野四七〇十八日四
- 倉八一 赤井七三〇十九日
- 川前二七 下小川組合五一
- 内郷木野九〇二十日湯本

一三〇 平窪三九〇二二一
日小名濱一〇四 神谷五〇
〇二二日永戸組合五七
磐崎七二 玉川三五〇二
四日高久三七 好間一二七
〇二五日鹿島二五 平町
本郷一三三〇二六日入遠
野四七 夏井四四 平町入
寄留六二〇二七日田人四
一 勿來九一 錦三七〇二
十八日上遠野五七 江名五
〇 山田四七〇二十九日植
田五五 泉六〇 飯野四八
〇 三〇日澤渡組合五七 川
部四〇 渡邊二一 豊間四
八〇三十一日内郷村入寄留
一〇三以上

法廷あふれる傍聴者

今日警銀事件の公判

午前は各被告に事實の訊問 午後一時の續行夜に及ぶ

破産管財整理に於て贈与元上席檢察の係で各被告の辯收賄に問はれた平町五丁目井上護士は
井上氏に千葉(平)大領(平)
磯部(東京)
色川氏に武田(平)伊藤三秋(仙台)
佐藤氏に松野尾(平)稲本錠之助(東京)増田秀雄(東京)の諸氏出廷の上三被告に對する事實の訊問終つて武田辯護

平驛の乗降客にも 愈々浮立つ春景氣

去三月は三千百十六圓の増收 手小荷物でも百三十三圓

平驛では一昨年末以來貨物收入は黒字を續けてゐるが旅客方面に好調な歩みがなく前年との比較に増減不定であつたが昨年秋頃から好成績に還り去る一月以來順調な黒字を續け浮立つ春を迎へて愈々活況を示して來た去る三月收入は定期回数を除いて出札三萬四千九百九十九人を前年同期の三萬二千五百四十九人に較べれば二千四百五十四人の増加で収入二萬三千三百三十四圓二七錢は昨年二萬二千四百七十七圓五錢より實に三千百十六圓七五錢を増收し之れに準じて手小荷物収入もまた本年三月千三百三十三圓三錢昨年千六百八十八圓九十錢で百三十三圓四十三錢の黒字を上げた降車に於ては前年三月の三萬四千三百三十二人より二千二百九十六人の増の三萬三千七百二十八人の如く總

平分會の武道大會 會に優勝旗試合

武徳會の平分會では来る十日同町松ヶ岡公園の石城忠魂祭當日武道大會を催し各種の試合から優勝旗争奪の合戦をなすと

函館火災の 義捐金

千圓を突破する

平町に於ける函館火災の義捐金は豫定の千圓を突破するらしいとは報じたが約十區を残してゐた其の後の義金は左記の如く之れに町役場職員から纏つた十圓八十九錢を合せて今六月までに千六百一十一圓七錢に達した

- 久保町二八圓五錢 鎌田三
- 一圓六五錢 八幡小路二〇
- 二〇〇錢 堤の内五圓四〇
- 北白銀三〇圓七八錢 北目
- 南白銀四四圓八五錢 北目
- 一五圓 (以上)

公有物件の火保 打合せ會

平町公有物件に對する火災保險契約を來る十四日の更新期から全部協定會社との契約となすべく同關係二十五社の町内代理店を今六月午前十時町役場に招集し打合せをした結果各社一萬二千圓づゝとして委員に東京火災代理鈴木勇

高瀬氏の日本畫 個人展

平町四丁目マルトモ樓上に於て來る十日前後の三日間同町高瀬勝男氏作の日本畫個人展覽會を開催の筈であるが出品三十數點に上るものゝ如く希望者に即賣する由であるが既に二十八點の賣約済みを見

兒童の進學及 就職に就て

各學校の卒業證書授與式も既に終りを告げ茲に新學期を迎へて上級學校へ入學すべき者、家庭に留まりて家業の手傳をなす者、實社會に進出して實業の見習をなす者等略ぼ從つて他人のする事は假令我が身に粗服を纏ひ難をすつ

御前試合の豫選

平町舊城跡の湯殿山遊藝所同會會長伊藤重善氏は咽喉頭軟骨膜炎に罹り療養に手を盡したが効なく去る四日遂に逝去した同氏は三山の厚信仰者で遙拜所建設に身血を注ぎ宇野町の同所から現在に移轉した去る大正六年秋拜殿を造營したばかりで暴風のため倒壊され翌七年再建して今日の宏壯を見るまでには多額の私財を投じて取つて重要な人行年六十三才その死を惜まれてゐる

炭鑛坑内で轢死

石城郡好間村の北好間宇堂田萩原炭鑛電工夫猪狩貞紀(三)は去る四日午後四時頃坑内架線の作業中石炭運搬車と坑壁の間に押し込まれ打倒れて轢死したのを同坑夫齊藤平吉が

伊藤重善氏 發見平署の検視を受けた

平町舊城跡の湯殿山遊藝所同會會長伊藤重善氏は咽喉頭軟骨膜炎に罹り療養に手を盡したが効なく去る四日遂に逝去した同氏は三山の厚信仰者で遙拜所建設に身血を注ぎ宇野町の同所から現在に移轉した去る大正六年秋拜殿を造營したばかりで暴風のため倒壊され翌七年再建して今日の宏壯を見るまでには多額の私財を投じて取つて重要な人行年六十三才その死を惜まれてゐる

湯殿山教會會長伊藤重善氏病氣の 處藥石効なく四月四日午後十時 逝去致し候間尋知各位に謹告仕 候

追て告別式は四月七日午前十時より午後三時まで平町六開門湯殿山に於て神樂祭にて相替申候

四月四日 平町六開門
三山崇敬教會社務所

御會葬御禮

昭和九年四月六日
石山一治
外親戚一同

ても我子も同様の事をしてやる成績が優秀であつて体格も一年の計は元日にあり」と云ふ譯の通り新學期の始めに於て來年度の卒業期に備へんが爲め今から心して頂き度いと存じまして保護者各位の参考と供する次第であります、親として我子の立身出世を望まない人はいないでせう從つて他人のする事は假令我が身に粗服を纏ひ難をすつ

品種改良の話

(七) 農試本場 天辰生
第一のものは昨年同様の平均一〇ミリメートルであるけれども第二の良い畑から取ったものは平均一三ミリメートルあり、第三の悪い畑のものは七ミリメートルであったとすれば一体この豆の品種は平均何ミリメートルの豆の大きさを遺傳質として持つてゐると云ふことができるか、そこで重大な點が明らかになる、即ち遺傳質について語る場合には此の豆の大きさの遺傳質は斯くくの状態に於ては平均何ミリメートルに現はれると云はねばならないことになる、此のやうに或る遺傳質が或る環境のもとで現はす形質を現象型と云つてゐる、すると現象型は必ず遺傳型と環境の相互相互作用によつて現はれるものであることが明らかになつて来る、更に前述の豆の實驗を續けて見やう、水稻の分蘖数の例では尙皇變異による現象型の差異が同一の環境では消滅してしまふことを觀たのであるが斯んな肥沃な畑で平均一三ミリメートルになつた豆及び瘦せ地で平均七ミリメートルであつた豆から夫々種子を取つて何年もの間同じ操作を繰返して見る、すると矢張り肥沃な地では一三ミリメートル、瘠薄な地では七ミリメートルの豆が年々生ずることになる、そこでもう之れ位よからうと思ふ程長い間栽培したる後斯んは兩方から別々に種子をとつて普通の畑に播いて見やう、

牛も豚も優良品の自慢
肉の御 三三三屋 平町 田町
用命は

淋病最新薬
美神淋薬
二週分 八、〇〇〇
平町店
山野邊藥局

婦護
平着護婦
電話三〇三

クロネコ 跡に開業
カフエー天地
電話 679

公園が花で
かざれば
カフエー
松ケ岡は
一品廿五
錢以上は
断じて戴
きません

女給てかざる
料理自慢のうでに
「ヨリ」をかけた店主
が營業の責任を引
受ました
御披露として向ふ一週間は一品
に付五錢づゝ割引いたします
カフエー 松ケ岡
研町通り公園入口 電話(呼出)四四三番

高久病院
院長 醫學士 高久忠
内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平町田町 電話 五二三番

ランドセル
學生ボーシ
女學生用手提カバン
小學生用 クツ
ツルヤ
平町四 電一四〇

- 総皮ランドセル大型 ¥ 75
- 極大型 ¥ 90
- 牛皮特撰ランドセル ¥ 3,00

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森勇
平町南町 電話 三五八番

煙突は 朝日
石綿セメント製
朝日煙突
絶対的
経済的
金屋商店

洋式宴會の仕出し
五人様以上の御注文にはボーイもコックも出張し
まして弊店へ御來店御會食と何等變りなくサービ
ス致します
出前は迅速に
平常の一品料理の出前は遠近に拘はらず迅速に御
届け致します、F.I.N.御願を...
美味で... イワキ サロン
平町 電話 三五二番

自家醬油製造
諸原料(種麹菌)大勉強
特約販賣 山野邊藥局
平町五丁目角

産科醫院 長木村寅次郎
婦人科
外科 醫學博士内木宗八
藥局 藥劑師立蕃彌一
平町新川町九一
入院隨意 木村病院
病室完備 電話一六四番

帝國海上火災保險株式會社
安田系統の帝國海上
平代理店 關内正一
平町二丁目 電話一六番
事務取扱者 阿部助次郎

産婆、看護婦
生徒(八十名)募集
今!入學の好時期
御希望の方は至急御申込みあれ
新學期は四月七日午前十時より
平南町

平南町
看護婦學校
校長 清野キヨ
電話三〇七番

東神火災保險株式會社
東洋火災保險株式會社
東洋生命保險株式會社
磐城代理店
河田鐵工場
河田梅吉
營業所 福島縣平町七丁目
本社 電話三三九番 二九五番
仙臺支店 東京市日本橋通り三丁目
仙臺支店 仙臺市大町三丁目

☑ 一般印刷物も御引受致します ☑
新しいわき新聞社